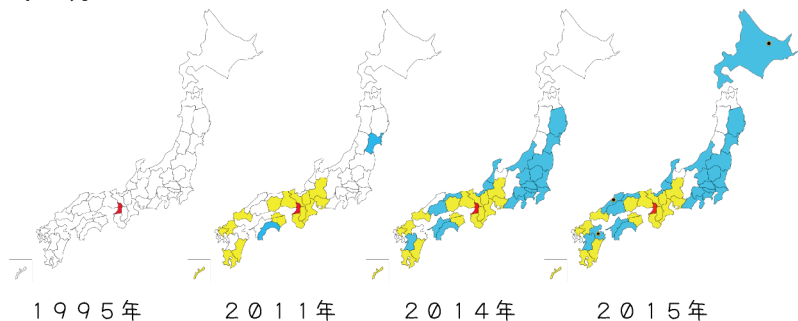


分布域が広がっています



1995年に確認された後、分布を広げています。
資材や中古自動車のバンパーに付着していたケースもあるようで、人間の活動により広がっていると思われます。

外来生物被害予防3原則

- 1 入れない ぷるんね!
- 2 捨てない
- 3 拡げない



見つけたら

- ・素手ではさわらない
駆除する時は軍手などを使用しましょう
- ・殺虫剤を使用する
- ・見つけた状況などを報告する
戸田市の場合は、戸田市役所環境課、
埼玉県中央環境管理事務所または
彩湖自然学習センター（048-422-9991）までご連絡ください
- ・もし咬まれたら
最寄りの病院でセアカゴケグモに咬まれたことを伝え受診しましょう

参考

本田 佳子, 2014. セアカゴケグモの分拡大の現状. 昆虫と自然(49): 37
池田 博明, 2012. 「毒グモ騒動の真実」補足解説. KISHIDAIA(101): 36-47
碓井 徹, 2019. セアカゴケグモの生態と駆除に関する資料 ver.3.5
馬場友希・谷川明男, 2015. クモハンドブック. 文一総合出版
環境省ホームページ https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_gokegumo.pdf

協力(敬称略)

写真・資料 埼玉県絶滅危惧動物種調査団代表 碓井 徹

戸田でも確認 「セアカゴケグモ」

オーストラリア^{げんさん}原産のヒメグモ科のクモです。日本で最初に^{にほん}発見^{さいしよ}されたのは1995年大阪府高石市^{おおさかふ たかいしし}です。輸入資材^{ゆにゆうしざい}に付着して国内に^{ふちやく}侵入したと考えられています。その後各地で発見され、埼玉県では2014年に川越市^{かわごえし}で初めて確認^{はじ}されました。戸田市でも2024年に彩湖・道満グリーンパーク^{さいこ どうまん}内で確認^{かくにん}されました。強い毒^{つよ}を持つため「特定外来生物」に指定されています。



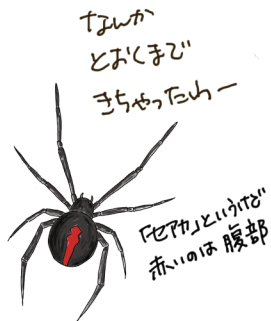
彩湖自然学習センター (みどりパル)

クモ目 ヒメグモ科 ゴケグモ属

セアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii*

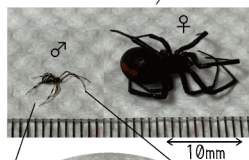
セアカゴケグモってどんなクモ？

オスとメスで大きさなどが異なります。



成体の大きさ (歩脚を含まず)

メス 7~10mm
オス 4~6mm



爪の節は 赤くない!
ちいー

オスの背中側には赤い模様はありませんが、腹部の腹側にはメスもオスも砂時計のような赤い模様があります。

セアカゴケグモの毒はα-ラトロトキシンという神経毒です。咬まれると激しい痛み、嘔吐、痙攣などの症状をとこなうと言われています。日本では死亡例は報告されていません。



生息場所

暖かい人工物のくぼみや、すき間 (自動車・プランターの底・室外機の裏・庭に置いておいた靴の中などにも) などに巣網を張ります。巣は不規則な形で枯葉などがついていることもあります。



たまごを
まもって
まもって

襲ってくるの？

攻撃性はありません。人を襲うようなことは無く、近づくと奥に逃げたり、落ちて死んだふりをします。しかし、卵を守っているメスから卵囊を引き剥がそうとすると咬みついてくる場合があるそうです。また、気づかずにつかんでしまった場合などは、咬まれるケースもあるようです。セアカゴケグモの牙は短く、軍手をしていれば皮膚まで届くことはありません。



クモと人間

セアカゴケグモが注目されるようになってから、在来 (もともと日本に生息していた) のよく似たクモも駆除されるケースが増えているようです。怖がられるクモですが、多くのクモは人間に積極的に危害を加えることは無く、作物害虫や衛生害虫の天敵として人間にとって大切な役割を担っています。

クモの毒は、本来人間に対してのもので無く、獲物を仕留めるための毒なのです。



たまごをまもって
うまから母グモは「ババ」



カバキコマチグモ
在来種の中で一番毒が強い



在来種のヒメグモのなかま

そっくりさん
「馬除け」

セアカゴケグモを見つけたら...

くわしくは裏表紙に

